

まちなか広場(仮称)基本計画(素案)について

目次

1. 基本計画策定の背景・目的	1
2. まちなか広場整備に向けた基本的な考え方	1
3. まちなか広場整備の概要	2
(1) 整備イメージ	2
(2) 活用イメージ	3
(3) 整備事業費	5
4. 施設の管理運営	5
5. 整備スケジュール	5
6. イメージパース	6
-参考-	
市民ニーズの調査・分析	7
(1) 豊橋駅前大通南地区まちなみデザイン会議からの提案	7
(2) 意見交換会等	8
(3) まちなか広場検討会議	9

1. 基本計画策定の背景・目的

豊橋駅前大通二丁目地区第一種市街地再開発事業において、老朽化した大型ビル等と一体的に整備が行われる狭間児童広場は、再開発エリア内に多くの人が集い、交流し、滞在することを促すために「まちなか広場（仮称）」（以下「まちなか広場」という。）として再整備していくこととしています。（平成27年3月、都市計画広場として都市計画決定）

こうしたことから、まちなか広場のあり方等を明らかにするために、基本計画を策定するものです。



豊橋駅前大通二丁目地区位置図

2. まちなか広場整備に向けた基本的な考え方

まちなか広場は、まちなかの新たな「人が集い、交流し、滞在する拠点」として、にぎわいの創出や商業・サービス業の活性化など、中心市街地活性化の一翼を担っていきます。そのため再開発エリアのコンセプト及び広場の整備方針を次のように示します。

○再開発エリアのコンセプト

『「にぎわい」と「みどり」にあふれた、まちなか拠点の再生』

○広場の整備方針

『まち歩きのコア』・『緑にあふれたオアシス空間』

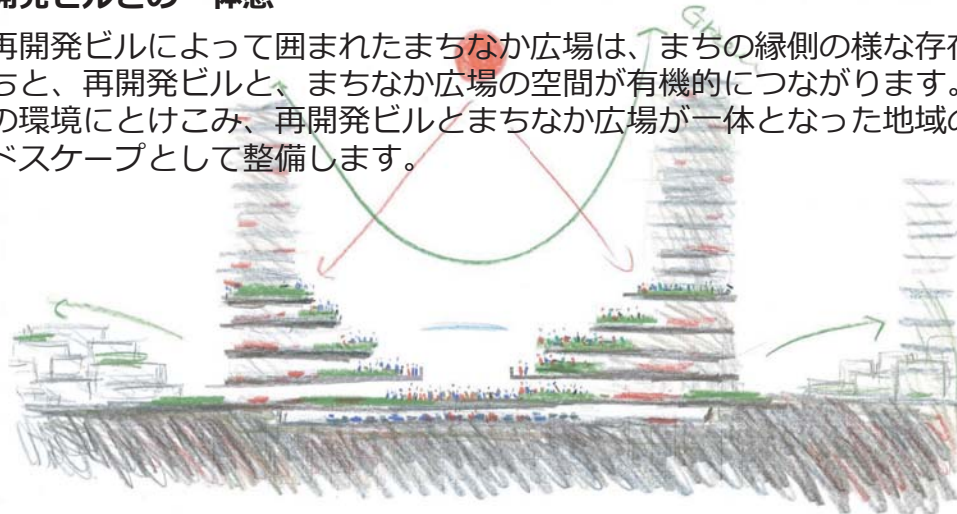
3. まちなか広場整備の概要

(1) 整備イメージ

まちなか広場は、各種イベント等に対応可能な多目的機能及び緑を強調する緑化機能を配置するとともに、エリア内の商業・サービス業、まちなか図書館（仮称）等と融合し、エリアの魅力を高めます。

再開発ビルとの一体感

再開発ビルによって囲まれたまちなか広場は、まちの縁側の様な存在で、まちと、再開発ビルと、まちなか広場の空間が有機的につながります。周辺の環境にとけこみ、再開発ビルとまちなか広場が一体となった地域のランドスケープとして整備します。

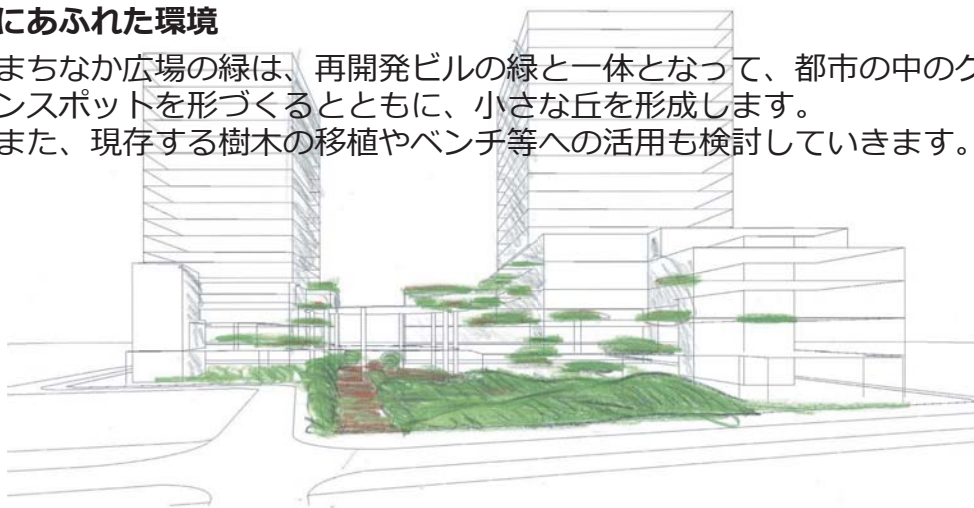


まちとつながる空間

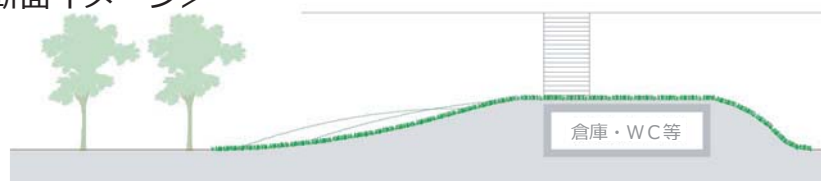
再開発ビルからだけでなく、駅前大通り、水上ビル、まちのどこからでもまちなか広場につながるような空間を形成します。

緑にあふれた環境

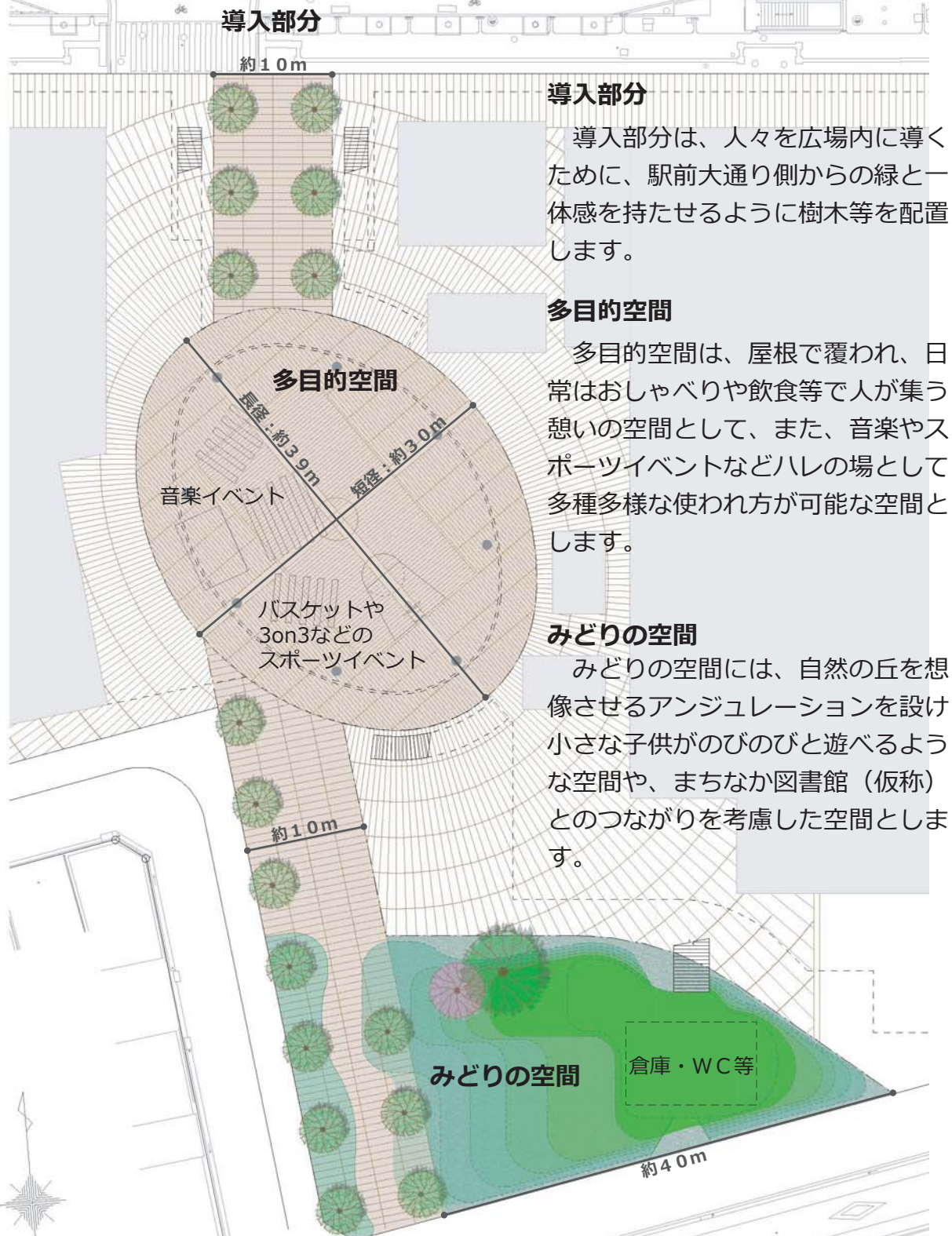
まちなか広場の緑は、再開発ビルの緑と一体となって、都市の中のグリーンスポットを形づくるとともに、小さな丘を形成します。また、現存する樹木の移植やベンチ等への活用も検討していきます。



<南側断面イメージ>



(2) 活用イメージ



導入部分

導入部分は、人々を広場内に導くために、駅前大通り側からの緑と一体感を持たせるように樹木等を配置します。

多目的空間

多目的空間は、屋根で覆われ、日常はおしゃべりや飲食等で人が集う憩いの空間として、また、音楽やスポーツイベントなどハレの場として多種多様な使われ方が可能な空間とします。

みどりの空間

みどりの空間には、自然の丘を想像させるアンジュレーションを設け小さな子供がのびのびと遊べるような空間や、まちなか図書館（仮称）とのつながりを考慮した空間とします。

- 注1) 再開発ビルは基本設計に基づくイメージであり、今後変更となる場合があります。
注2) 強風対策に関しては、来年度に予定されている実施設計において風環境シミュレーションを実施し対応を検討します。
注3) 本図は基本計画段階のイメージであり、実施設計以降の詳細検討を行う段階で変更となる場合があります。

○多目的空間（約1,200㎡）

[使われ方のイメージ]

- ・若者がおしゃれなテーブルでおしゃべりしたりランチをとる
- ・サラリーマンやOLが仕事帰りにビールなどで乾杯する
- ・商業施設等と連携したマルシェや即売会などを開催する
- ・キッチンカーを並べて飲食イベントなどを開催する
- ・ライブ演奏など音楽イベントを開催する
- ・バスケットなどスポーツイベントを開催する
- ・2階テラスや回廊から、多目的空間でのイベントの様子が観賞できる 等



日常の憩い



音楽ライブ



スポーツ

○みどりの空間（約1,000㎡）

[使われ方のイメージ]

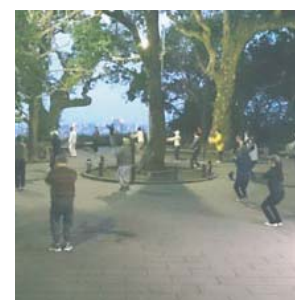
- ・視認性が良い芝生広場で子供が斜面を走りまわり、転げまわる
- ・図書館で借りた本を木陰のベンチや芝生等でくつろぎながら読む
- ・お弁当を食べたり、休憩場所として利用する
- ・子供やお年寄りがラジオ体操をする 等



芝生広場



木陰とベンチ



ラジオ体操

(3) 整備事業費

まちなか広場の整備にかかる費用については、工事費、備品購入費等を合わせて、約7億円と試算しています。

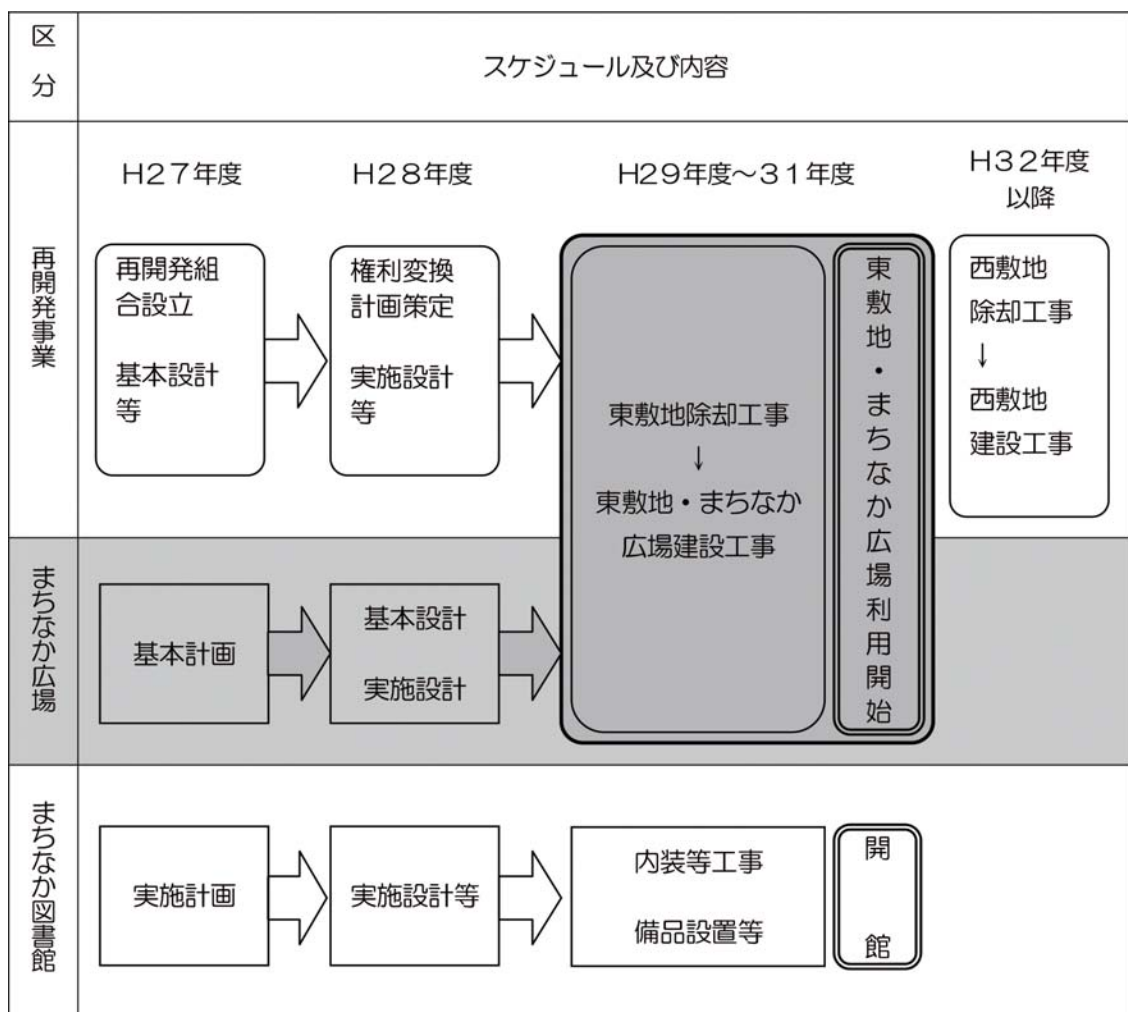
なお、整備を進めるにあたっては、社会資本整備総合交付金（都市再構築戦略事業 基準補助率1/2）の活用を想定しています。

ただし、この金額は現時点のものであり、今後、実施設計を行うなかでより詳細な金額を検証していきます。

4. 施設の管理運営

まちなか広場の管理や運営については、再開発エリア全体でにぎわいや魅力を創出することを視野に入れ、再開発ビル全体との管理運営の可能性を含めあらゆる方法を検討していきます。

5. 整備スケジュール



6. イメージパース

駅前大通り側からみる



水上ビル側からみる



- 注1) 再開発ビルは基本設計に基づくイメージであり、今後変更となる場合があります。
注2) 本図は基本計画段階のイメージであり、実施設計以降の詳細検討を行う段階で変更となる場合があります。

市民ニーズの調査・分析

まちなか広場基本計画の策定にあたっては、市民に末永く愛される広場を目指すため、地元住民との意見交換会や、まちなか広場検討会議等を実施するなど、市民ニーズの把握に努めました。

(1) 豊橋駅前大通南地区まちなみデザイン会議からの提案

豊橋駅前大通南地区まちなみデザイン会議は関係自治会や商店街、企業、イベント企画団体等が主体となり平成20年度に発足しました。平成22年度には狭間児童広場を含む豊橋駅前大通南地区のまちづくり指針やめざすべき将来像を示した「豊橋駅前大通南地区まちづくりビジョン」を提案しました。

«豊橋駅前大通南地区まちづくりビジョン（抜粋）»

○エリア別の将来像（狭間児童広場周辺）

「まちなか発展につながる交流のかなめ～まちのオアシスで“ほのぼの”ひと休み～」

○まちづくりの指針（狭間児童広場周辺）

「まちなかの回遊性を生み出す交流拠点づくり」

○広場の具体的方策例

- ・ 広場と周辺の段差をなくし、どこからでも見える
- ・ 駅前大通りと水上ビルを結ぶ
- ・ まちを訪れた人が休憩したり、弁当を広げて食べることができよう
な憩いの場
- ・ 季節を感じることでできる樹木や花、親水空間、ビオトープ
- ・ 木陰のベンチやオープンカフェ 等

広場のイメージ



芝生でくつろぐ



木陰でくつろぐ



オープンカフェでくつろぐ

(2) 意見交換会等

再開発事業の進捗に合わせ、地元住民等に対する説明会や意見交換会を実施してきました。

○地域懇談会【平成26年8月4日】

内容：「狭間児童広場、名豊ビル、開発ビル等、再開発に対する意見交換」

○地元説明会【平成26年10月23日】

内容：「豊橋駅前大通二丁目地区再開発計画案説明」

○意見交換会【平成27年2月3日】

内容：「豊橋駅前大通二丁目地区再開発事業について意見交換」

○地元説明会【平成27年7月14日】

内容：「豊橋駅前大通二丁目地区再開発計画案説明」

≪主な意見≫

- ・実質的に現状の有効面積が確保され、機能が向上するのであれば今後の整備を期待したい
- ・ビル風の対策を考える必要がある
- ・現広場はでこぼこしていて子供には危ない。芝生広場にしてベンチを置いてほしい
- ・住民の思い入れのある歴史ある広場であり名前は継承してほしい
- ・豊橋駅と結ぶポイントになるので小さくても皆が行きたくなる憩いの広場にしてほしい
- ・年配者や子供が安心して過ごせる広場にしてほしい
- ・公園は広い方がいいが質も大事。お年寄りもゆっくりできる場所にしてほしい
- ・今ある緑を何らかの方法で残すことを検討してほしい
- ・災害時に地域の人たちが使える防災機能がほしい 等

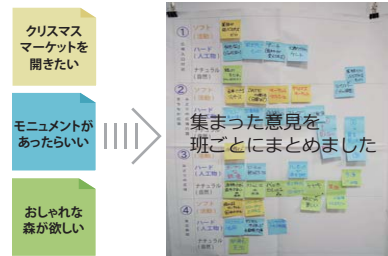
(3) まちなか広場検討会議

平成27年度に地元住民や公募で選ばれた市民、大学生等で組織する、「まちなか広場検討会議」を設置し、広場のあり方や必要な機能等についてワークショップを5回開催し検討しました。

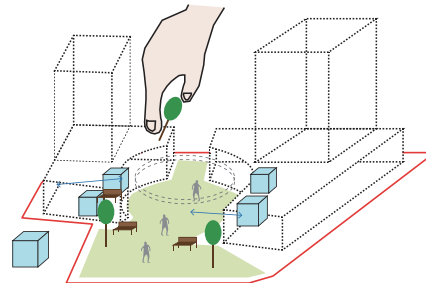
- ・ 様々な世代・関係者の方が3つのグループに分かれて、ざっくばらんな意見交換を行いました。



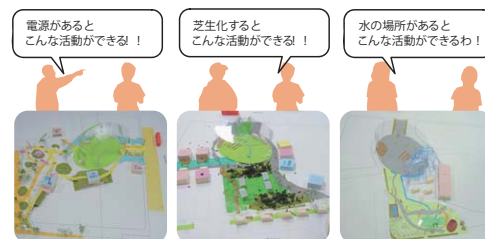
- ・ 参加者に「あったらいいな・できたらいいな」ということを付箋に書いてもらいました。各グループで模造紙にまとめて意見を整理していきました。



- ・ 各グループで議論したアイデアをもとに模型をつくり、みなさんの想いのつまった広場を具体化しました。



- ・ 各グループで具体化した広場で「誰が」「どこで」「何が」できる」をイメージしてディスカッションを行いました。



《主な意見》

広場全体

- ・ハンモックで本を読んだり、ビールをゆっくり飲みたい
- ・視線の通る芝生広場にして水上ビルまで芝生を拡張してほしい
- ・現存する樹木を、まちの歴史や記憶として、なんらかの方法で残してほしい
- ・広場入口からみどりの空間まで見通しをよくしてほしい
- ・広場に向かってまちのどこからでも入れる道がほしい 等

多目的空間

- ・クリスマスマーケットやマルシェなど様々なイベントができるようにしてほしい
- ・シニア世代のコンサートが開催できるような空間にほしい
- ・演奏を聴きながら昼食を食べられる空間をつかってほしい
- ・キッチンカーが停車できる場所をつくり駅前大通りから賑わいをつかってほしい
- ・愛大生が広場全体を使って学園祭を開催するなど大学との連携もしてほしい 等

みどりの空間

- ・デートの待ち合わせができる時計台やモニュメントがほしい
- ・図書館へは階段ではなくスロープで上がる工夫がほしい
- ・みどりの空間中央に築山を計画し、子供が遊べるようにしてほしい
- ・みんながみどりの空間で桜の花見ができるようにしてほしい
- ・図書館利用者がみどりの丘で寝そべて本を読むことができれば良い 等